

交通安全情報づらぎ

★「グッドライダーミーティング2023」の実施

11月12日(日)、広島県運転免許センターで開催しました。当日は寒い中、27名のライダーが参加し、白バイ隊員や指導員から安全確認の重要性、合図のタイミングなどの安全走行やコンビネーションスラローム、ブレーキングなどの技能走行に関することについて学びました。



白バイ隊員によるアドバイス

★「地域交通安全活動推進委員連絡協議会連合会会議」及び「地域交通安全活動推進委員研修会」の開催

11月24日(金)、広島県運転免許センターにおいて開催されました。広島県警察による会議には、県内各地区推進委員25名が出席されました。研修会では、JAF広島支部による、「JAF交通安全講習会」が実施されました。



研修会の様子

★「自転車安全教育指導員養成講習会」の実施

11月4日(土)呉ポートピア会場では14人、11月18日(土)広島県運転免許センター会場では17人の方が受講されました。自転車整備の重要性や自転車保険等の必要性についてなど講義を受け、また実際に自転車の危険な乗り方を体験するなど、安全運転の重要性を学びました。



傘差し運転の危険性を体験

★「年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」の広報活動

「年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」期間中の12月1日(金)に、広島県東部運転免許センターで出動式が行われ、12月6日(水)には、広島県運転免許センターで交通安全グッズを同梱した交通安全チラシを配布し、無事故・無違反を呼びかけました。



広島県東部運転免許センター

令和6年 広島県交通安全年間スローガン

『今日もまた あなたの無事故 待つ家族』

★第72回交通安全ポスター・作文コンクール特別賞のご紹介

ポスターの部		👑	作文の部	
学校・学年・氏名		賞名	学校・学年・氏名	
①福山市立多治米小学校 2年	小畑 桃々華さん	広島県知事賞	呉市立阿賀小学校 4年	切川 翔太さん
②広島市立瀬野小学校 6年	田中 夢芽さん	広島県警察本部長賞	福山市立竹尋小学校 6年	信近 瑠唯さん
③広島市立高陽中学校 3年	昆沙丸 魁俐さん	広島県警察本部長賞	東広島市立中央中学校 3年	椋嶋 優菜さん
④広島市立緑井小学校 3年	灘 恵菜さん	広島県教育委員会賞	福山市立伊勢丘小学校 3年	秦 美織さん
⑤近畿大学附属広島中学校福山校 2年	宮寄 晴愛さん	広島県教育委員会賞	広島県立広島中学校 2年	高岡 夕愛さん

※特別賞の受賞作品は、当協会のホームページでご覧いただけます。



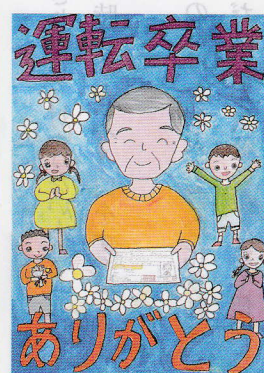
①広島県知事賞



②広島県警察本部長賞



③広島県警察本部長賞



④広島県教育委員会賞



⑤広島県教育委員会賞

「ほら、また『ながら運転』してるよ。」

対向車の運転手がけい帯電話で通話しながらすれ違う様子について、お父さんがあきれた表じようで話しました。

ぼくは、『ながら運転』って何だろうと思っていました。車の運転をしながら別の動作をするきけんな運転だと説明を受けて理かいできました。それから、意識きして運転手を見ていると、様々な『ながら運転』をかくにんすることができました。

スマートフォンやカーナビの画面を見ながら、けい帯電話で話をしながら、パンやおむすびを食べたり飲み物を飲んだりしながら、ヒゲをそりながら、お化しようをしながら、ゲームをしながら。また、周りの音が聴こえなくらいの大きな音量で音楽を流しながら運転している人も見かけました。

本人たちは、時間を有こうに活用できているように思っているのでしょうか。器用にやつてのけているように思っているのでしょうか。それは、全くのかん違いだと思えないです。

つい最近も、スマートフォンをかくにんしながら運転していた車に小学生がはねられたというニュースを見ました。さらに、スマホのゲームをしながら自転車運転していた人が、高れい者とぶつかり、命をうばってしまったというしょうげきの事もありました。自動車だけではなく、ぼくも遊びに行く時に使っている自転車も、人をきずつけてしまう凶器となることにショックを受けました。

はねられて大ケガを負った小学生も、かけがえの無い命を落とされた高れいの方も、何も悪いことはしていないのに、想ぞうもしていないとつ然の出来事に一度切りの人生をうばわれてしまったのです。

運転手は、(まさか自分は交通事故を起こさないだろう。ほんの少しの時間なら大丈夫だろう。)と、軽い自分勝手な気持ちで運転してしまっただと思えます。しかし、起きてしまったことは、もう元に戻りません。事この後にどんなにくやんで反省をしても、取り返しがつかないのです。

運転手が(ほんの少しの間なら)と、たった三秒間、目をはなしたとしたら、どれだ

けのキヨリを進んでしまっのか調べてみました。

例えば、自動車の時速六十キロで走っていると、約五十メートルものキヨリをい動してしまっのです。五十メートルというと、学校の体育のじゅ業で、ぼくが同じキヨリを進もうとすると、全力しつ走をしても九秒もの時間がかかっってしまうのに、自動車だとあつという間に進んでしまっのです。

『ながら運転』により、集中力が散まんなじようきようで前方を見ていないということは、目をとじて運転しているのと同じことだと思えます。かりに、「目をとじたまま運転してみてください。」と伝えて、何のきようふも感じずに運転できる人は多くいるでしようか。

ひとたび事か起きてしまっくと、ひ害者となつた相手はもちろんです。その家族の人生も変えてしまっいます。当たり前にあつたはずのその人や周りの家族の日じようや幸せをうばってしまっ、未来をこわしてしまっのです。

ぼくは、五才のたん生日に、そ父から自転車とヘルメットを買つてもらい、たくさん練習をして上手に乗られるようになりまっ。それと同時に、両親が自転車ほけんに加入してくれまっ。

「自動車でも自転車であつても、運転しているかぎり、『せつ対』はないんで。」
 自転車で出かける時には、歩いて遊びに出かける時よりも「せう口をすつぱくして言われまっ。

ぼくの住む広島県でも、今年の四月から自転車のほけん加入がきむ化されまっ。自動車のように入運転めんきよを取らなくても、だれもが気軽に乗られて便利な反面、気を付けなければならぬルールとせきにんがあるというこをしつかり自覚していかなければなりまっ。

自分や自分の大切な人を守るために、ひ害者にも加害者にもならないために、一人一人が心のゆとりと思いやりのあるやさしい気持ちを持ち『ながら、運転』できる社会になりまっように。

